

足元見つめ直す年に

迎春。新年を迎え、おめでとうございます。
 昨年は、自民党大勝により勝てば官軍、負ければ賊軍という殺伐たる世相。また株にまつわる問題など、アメリカ流経済の流入で勝ち組・負け組という富の格差が峻別される傾向を生んだ。

新年は、景気回復とともに経済は明るい方向にむかう年になるでしょう。一方、精神的なルネッサンスが興る年になると思います。なぜなら、日本人の精神構造形成に大きな役割をはた



馬場総合鑑定所社長

馬場 勉

した「天台宗」が都の鬼門を守る比叡山に開宗されてから1200年を迎える節目の年にあたるからです。

宗祖最澄（伝教大師）は国家鎮護だけでなく、仏教は全ての人を救うと説き、空海（弘法大師）と双壁をなし宗教界のみならず政治・経済等への存在感と影響力は絶大です。自分の足元を見つめ直しかつ岡山の進む方向性を熟慮すべき年にしましょう。

本年が、よき年になりますように……。

2006.1.5 おかやま財界

あけましておめでとうございます。景気が回復し、明るい見通しの平成一八年を真新しい心で迎えました。岡山市が政令指定都市になるのは、すでに時間の問題ですが、どのようなまちづくりを目指すかのビジョンを策定する重要な元年です。目に見える形を創出することも市政としては大切です。岡山市民は岡山発展のために立ち上がり、声を出して、汗を流そう！

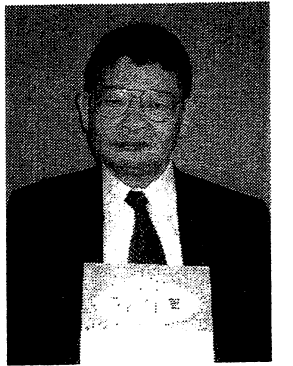
不動産鑑定士 馬場 勉

迎春

人。往来

コラム集第20号を発行
15年の執筆支えた「好奇心」

本誌コラム「ばば・つとむの平成つれづれ草」を執筆中の不動産鑑定士、馬場勉氏がこのほど、節目となる第20号のコラム集を発行した。



馬場勉氏

平成14年10月11日号から17年11月28日号まで44回分を収録。各コラムには雑感が追記され、誌面には無い同氏の横顔も垣間見ることができる。

コラム執筆を始めて15年。継続の秘けつについて「物事をただ見る、ただ聞くのではなく、常に好奇心を持ってアンテナを張っておくことが大切」と言い、今後も“自分史”としての執筆活動に意欲を見せている。

A4判、100頁。希望者には無料で配布する。問い合わせは(株)馬場総合鑑定所（電話・岡山222-6591）へ。